

交通バリアフリーニュース

バリアフリー教室・バスの乗り方教室を 各地で開催

香川県丸亀市、香川県さぬき市、高知県高知市

丸亀市立城辰小学校

9月16日（木）、城辰小学校（香川県丸亀市）において、「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には同小学校5年生76名が参加。琴参バス（株）の協力で、校内にバス車両を持ち込み、整理券の取り方から運賃表の見方など、バスの乗り方について勉強しました。

また、バリアフリーに対応した低床バス車両の特徴を学習したり、低床バスに乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。



講師がバスについてわかりやすく説明



整理券と運賃を料金箱へ

丸亀市社会福祉協議会の講師の指導のもと車いす体験と視覚障害者疑似体験を行いました。車いす体験では、利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障害者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して実際にバスに乗降するなど介助体験を行いました。

参加した児童は講師の話の聞いたり、実際に介助体験をすることによって、相手を思いやり相手の立場にたって行動することの大切さを学びました。

丸亀市立城辰小学校



車いすに乗車したままバスに乗降



アイマスクを着用してバスに乗降



講師より車いすの説明



段差を慎重に通過



体操用マットの上で移動の大変さを体験



意見交換会

さぬき市立津田小学校

9月28日(火)、津田小学校(香川県さぬき市)において、「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には同小学校5年生57名が参加。大川自動車(株)の協力で、校内にバス車両を持ち込み、整理券の取り方から運賃表の見方など、基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応した低床バス車両の特徴を学習したり、低床バスに乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。



講師がバスについてわかりやすく説明



車いすに乗車したままバスに乗降

バリアフリー教室では、障害者生活支援センターましみずの講師から視覚障害者の介助方法を教わり、アイマスクを着用して実際にバスに乗降するなどの介助体験を行いました。

車いす体験の講師からは車いす利用者の介助方法を学び、段差を慎重に通過する体験を行いました。

講師の先生から貴重な実体験の話を聞いて大変有意義な時間となりました。

参加した児童は「心のバリアフリー」への理解を一層深める授業となったようでした。



当事者の方から講話

さぬき市立津田小学校



運賃を運賃箱に投入



車いす利用者の介助体験



車いすで段差を慎重に通過



介助者が誘導しながらバスから降車



講師の先生と意見交換

高知市立横内小学校

10月5日(火)、横内小学校(高知県高知市)において、「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には同小学校3年生84名が参加。高知県交通(株)の協力で、バス2両を校内に持ち込み、整理券の取り方や運賃表の見方など、基本的なバスの乗り方について勉強しました。

また、バリアフリーに対応した低床バス車両の特徴を学習したり、低床バスに乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。

バリアフリー教室では、高知市障害者福祉センターの講師から視覚障害者の介助方法を教わり、アイマスクを着用して実際にバスに乗降するなどの介助体験を行いました。

当事者の方から貴重な実体験に基づく話を聞いて大変有意義な時間となりました。参加した児童は「心のバリアフリー」への理解を一層深める授業となったようでした。



講師からバスの乗り方について説明



車いすでバスに乗降



ICカードを使ったバスの乗降体験

高知市立横内小学校



整理券を取り乗車



講師の先生の講話



講師による模範紹介



車内で友達を誘導



アイマスクを装着してバスを乗降



講師のみなさんから講評

～高齢者の交通事故～

四国地方は、高齢化が全国よりも10年進んでいるといわれ、近年高齢者の事故も増えています。四国管区警察局・四国交通安全協会がまとめた「平成21年四国の交通」(年報)より、四国における高齢者の交通事故の件数等を紹介します。

高齢者の交通事故発生状況

区分 県別 年別	65～69歳		70～79歳		80歳以上		計		
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	
徳島	21年	2 (4.2)	365 (5.4)	10 (20.8)	645 (9.5)	16 (33.3)	219 (3.2)	28 (58.3)	1,229 (18.2)
	20年	6 (14.3)	391 (5.6)	12 (28.6)	682 (9.7)	7 (16.7)	210 (3.0)	25 (59.5)	1,283 (18.2)
	増減率	△ 66.7	△ 6.6	△ 16.7	△ 5.4	128.6	4.3	12.0	△ 4.2
香川	21年	4 (5.7)	742 (5.1)	9 (12.9)	1,137 (7.8)	25 (35.7)	474 (3.3)	38 (54.3)	2,353 (16.2)
	20年	4 (6.6)	687 (4.7)	22 (36.1)	1,075 (7.3)	12 (19.7)	388 (2.6)	38 (62.3)	2,150 (14.7)
	増減率	0.0	8.0	△ 59.1	5.8	108.3	22.2	0.0	9.4
愛媛	21年	8 (9.9)	636 (5.9)	22 (27.2)	922 (8.6)	26 (32.1)	373 (3.5)	56 (69.1)	1,931 (18.1)
	20年	15 (18.3)	649 (5.8)	16 (19.5)	961 (8.7)	27 (32.9)	395 (3.6)	58 (70.7)	2,005 (18.1)
	増減率	△ 46.7	△ 2.0	37.5	△ 4.1	△ 3.7	△ 5.6	△ 3.4	△ 3.7
高知	21年	4 (8.9)	301 (6.8)	9 (20.0)	476 (10.7)	2 (4.4)	174 (3.9)	15 (33.3)	951 (21.4)
	20年	5 (8.8)	272 (5.9)	13 (22.8)	470 (10.3)	17 (29.8)	179 (3.9)	35 (61.4)	921 (20.1)
	増減率	△ 20.0	10.7	△ 30.8	1.3	△ 88.2	△ 2.8	△ 57.1	3.3
四国	21年	18 (7.4)	2044 (5.6)	50 (20.5)	3180 (8.7)	69 (28.3)	1240 (3.4)	137 (56.1)	6,464 (17.7)
	20年	30 (12.4)	1,999 (5.3)	63 (26.0)	3,188 (8.5)	63 (26.0)	1172 (3.1)	156 (64.5)	6,359 (17.0)
	増減率	△ 40.0	2.3	△ 20.6	△ 0.3	9.5	5.8	△ 12.2	1.7

注:()内は、全死者・全傷者に対する構成率である。

高齢者を対象とした交通安全活動

高齢化が全国より進んでいる四国管区内においては、死者数に占める高齢者の割合が56.1%と全国平均の48.6%を大きく上回っており、高齢者対策を交通死亡事故抑止対策の大きな柱と位置づけ、各県とも積極的な活動に取り組みました。特に高齢者自身の安全意識を高揚させるため、参加、体験、実践型の交通安全教育を積極的に実施し、加齢による身体機能の変化を自覚し、それに応じた安全行動が実践されるように努めました。また、街頭活動、キャンペーンにおいては、高齢歩行者、電動車いす利用者、高齢自転車利用者に対する交通安全指導、誘導活動に努めるとともに高齢運転者標識の使用促進や高齢運転者標識表示者に対する思いやり運転の励行を呼びかける広報にも努めました。

高齢者(65歳以上)の状態別死者数

区分	自動車			自動二輪			原付自転車			自転車乗車中			歩行者			小計	その他	合計
	運転中	同乗中	小計	運転中	同乗中	小計	運転中	同乗中	小計	自転車乗車中	横断歩行中	その他歩行中	その他					
徳島	死者数	3	5	8	1	1	1	1	1	4	10	3	1	14	-	28		
	前年数	5	-	5	1	1	1	4	4	5	9	1	-	10	-	25		
	構成率	10.7	17.9	28.6	3.6	-	3.6	3.6	-	14.3	35.7	10.7	3.6	50.0	-	100.0		
	増減数	△ 2	5	3	-	-	-	△ 3	-	△ 1	1	2	1	4	-	3		
	増減率	△ 40.0	-	60.0	-	-	-	△ 75.0	-	△ 20.0	11.1	200.0	-	40.0	-	12.0		
香川	死者数	3	1	4	1	1	1	3	3	8	20	1	1	22	-	38		
	前年数	4	2	6	1	1	1	5	5	12	12	2	-	14	-	38		
	構成率	7.9	2.6	10.5	2.6	-	2.6	7.9	-	21.1	52.6	2.6	2.6	57.9	-	100.0		
	増減数	△ 1	△ 1	△ 2	-	-	-	△ 2	-	△ 4	8	△ 1	1	8	-	-		
	増減率	△ 25.0	△ 50.0	△ 33.3	-	-	-	△ 40.0	-	△ 33.3	66.7	△ 50.0	-	57.1	-	-		
愛媛	死者数	9	5	14	2	2	2	5	5	8	21	6	-	27	-	56		
	前年数	7	4	11	2	2	2	4	4	12	26	3	-	29	-	58		
	構成率	16.1	8.9	25.0	3.6	-	3.6	8.9	-	14.3	37.5	10.7	-	48.2	-	100.0		
	増減数	2	1	3	-	-	-	1	-	△ 4	△ 5	3	-	△ 2	-	△ 2		
	増減率	28.6	25.0	27.3	-	-	-	25.0	-	△ 33.3	△ 19.2	100.0	-	△ 6.9	-	△ 3.4		
高知	死者数	4	-	4	2	2	2	1	1	3	4	-	1	5	-	15		
	前年数	11	4	15	-	-	-	2	2	3	12	3	-	15	-	35		
	構成率	26.7	-	26.7	13.3	-	13.3	6.7	-	20	26.7	-	6.7	33.3	-	100.0		
	増減数	△ 7	△ 4	△ 11	2	-	2	△ 1	-	-	△ 8	△ 3	1	△ 10	-	△ 20		
	増減率	△ 63.6	△ 100.0	△ 73.3	-	-	-	△ 50.0	-	-	△ 66.7	△ 100.0	-	△ 66.7	-	△ 57.1		
合計	死者数	19	11	30	6	6	6	10	10	23	55	10	3	68	-	137		
	前年数	27	10	37	4	4	4	15	15	32	59	9	-	68	-	156		
	構成率	13.9	8.0	21.9	4.4	-	4.4	7.3	-	16.8	40.1	7.3	2.2	49.6	-	100.0		
	増減数	△ 8	1	△ 7	2	-	2	△ 5	-	△ 9	△ 4	1	3	-	-	△ 19		
	増減率	△ 29.6	10.0	△ 18.9	50.0	-	50.0	△ 33.3	-	△ 28.1	△ 6.8	11.1	-	-	-	△ 12.2		

四国における交通バリアフリー化の進捗状況 (平成22年3月31日現在)

四国における1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設は、鉄軌道駅の12駅で、それらのバリアフリー化状況は右表のとおりです。

各旅客施設における1日あたりの利用者数が5,000人未満の施設のバリアフリー化状況はそれぞれの表のとおりです。

また、車両等のバリアフリー化の推移は、下記グラフのとおりです。

鉄軌道駅のバリアフリー化状況

事業者名	駅名	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応型トイレ	転落防止設備
四国旅客鉄道(株)	高松駅	○	○	○	○
	坂出駅	○	○	○	○
	丸亀駅	○	○	○	○
	今治駅	○	○	○	○
	松山駅	○	○	○	○
	徳島駅	○	○	○	○
高松琴平電気鉄道(株)	高松築港駅	○	×	×	×
	瓦町駅	○	○	○	○
伊予鉄道(株)	松山市駅	○	○	○	○
	大街道電停	○	○	—	○
	松山市駅前電停	○	○	—	○
主要駅(12駅)に占める適合駅数		12	11	9	11
全駅(491駅)に占める適合駅数		112	187	19	220

※ 主要駅とは、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の駅で、四国では上表の12駅が該当する。
 ※ 表中の「○」は基準適合、「×」は基準不適合、「—」は便所設備のないことを示す。

鉄軌道駅のバリアフリー化状況

駅総数	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応型トイレ	転落防止設備
491	112	187	19	220

※ 利用者数が5,000人以上の12駅を含む

バスターミナルのバリアフリー化状況

ターミナル総数	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応型トイレ
3	3	2	—

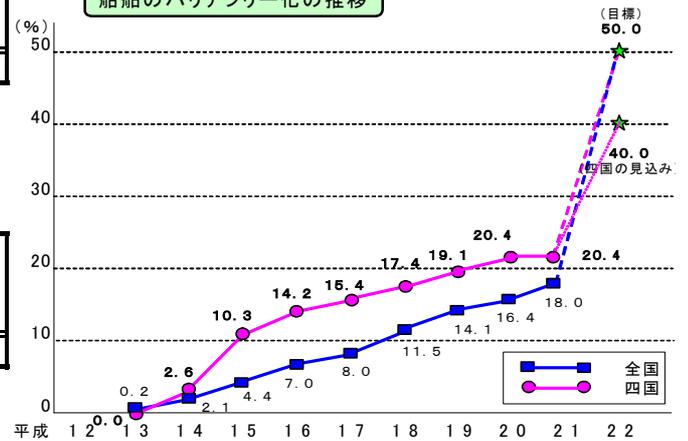
※ 四国のバスターミナルは、1日当たりの平均的な利用者数が1,000人未満の小規模な施設しかない。

旅客船ターミナルのバリアフリー化状況

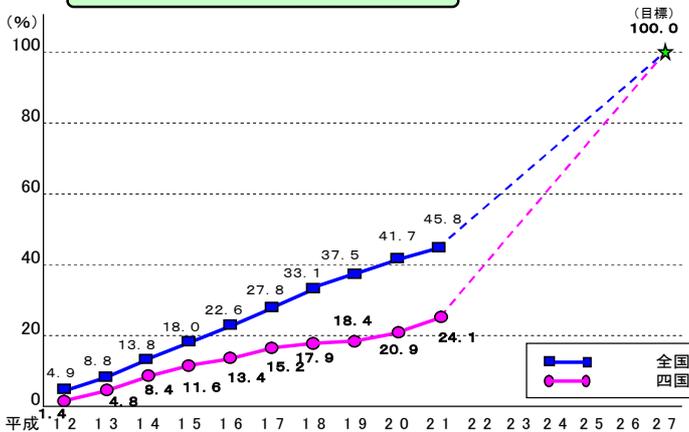
ターミナル総数	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応型トイレ
93	40	10	10

※ 四国の旅客船ターミナルは、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人未満の中小施設で占められている。

船舶のバリアフリー化の推移

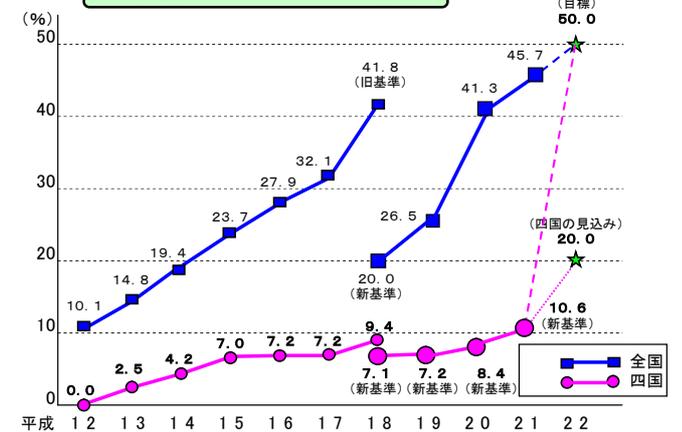


低床バスのバリアフリー化の推移



※ ノンステップバスを含む

鉄軌道車両のバリアフリー化の推移



※ 平成22年の四国の見込みは、四国における交通バリアフリー推進基本方針による。

四国運輸局が開催していますバリアフリー教室・バスの乗り方教室は、自治体、社会福祉協議会、障害者の方、公共交通事業者等から、後援・協力をいただき開催しております。9、10月に開催した教室では次のとおりです。

平成22年9月16日開催バリアフリー教室・バスの乗り方教室（丸亀市立城辰小学校）

後援：香川県、丸亀市、丸亀市教育委員会
協力：(社)丸亀市社会福祉協議会他、琴参バス株式会社

平成22年9月28日開催バリアフリー教室・バスの乗り方教室（さぬき市立津田小学校）

後援：香川県、さぬき市、さぬき市教育委員会
協力：安部 徹氏、山下 一三氏
障害者生活支援センターましみず、大川自動車株式会社

平成22年10月5日開催バリアフリー教室・バスの乗り方教室（高知市立横内小学校）

後援：高知県、高知市、高知市教育委員会
協力：高知市障害者福祉センター他、高知県交通株式会社

ご協力ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064

香川県高松市朝日新町1-30

電話：087(825)1174

FAX：087(822)3412

Email：Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。

四国運輸局ホームページもご覧ください

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>